

東員町こども計画（案）に対していただいたご意見と町の考え方

- 1 募集期間 : 令和7年1月15日（水）～令和7年2月14日（金）
- 2 提出件数 : 3件
- 3 意見とその対応

ページ	項目等	ご意見等	意見への考え方
全体	計画全体	すべての子ども・若者が尊重される社会を築いて、子育ての喜びを皆で分かち合えるという東員町にするためには、現金給付や無償化政策は、国に一本化すべきで、東員町として、引き続き、より住民に寄り添ったサービスを展開していただくとを願っています。（ネウボラ等）また、高齢者と子どもや子育て中の世代の交流機会を増やして、子どもにとってはお年寄りをいたわる気持ちを育み、思いやりやマナーを身につけられる。高齢者にとっては子供と触れ合うことで自分の役割を見つけ、活力が生まれる等のメリットがあり、高齢者が子ども施策の理解を促すことになると思います。	子ども・若者が尊重される社会を築くことは、本計画の趣旨でもあります。妊娠期から子育て家庭を切れ目なく支えるため、住民に寄り添ったサービスの提供に努めます。また、関係課と連携して、子どもや子育て世代と高齢者の交流を引き続き推進していきます。
P 8 3	保育利用率：3号認定（0～2歳児）	0～2歳児の推計人口が、本計画期間中（令和7.8.9.10.11年度）利用定員数を上回るという保育利用率見込みとなっていますが、保育ニーズの増大、多様化を踏まえた保育サービスについて、「保育士確保対策」は必須で、対策をいろいろ講じている様子ですが、こども家庭庁の『新子育て安心プラン』の保育の受け皿整備に関する政策が複数提示されていると思いますが、これら国の支援を可能な限り活用して、待機児童を改善できればと思います。国の支援の活用の用途はどのようなのですか。	増え続ける保育ニーズに対応し、安心して子育てができるよう、国の支援を可能な限り受け、保育士と施設の確保に努めます。
P 2 P 5	（3）関連諸計画との関係図	子育て支援の対策には、雇用の重要性（賃金と正規雇用）とジェンダーギャップの改善（共働き、共育てができる環境づくりを	多様な価値観・考え方を尊重し、若い世代の視点に立って結婚、子

<p>こども計画 策定のポイント 図表 1-5 子 ども施策に 関する基本 的な方針の ⑤若い世代 の生活の基 盤の…結婚 子育て…隘 路の打破に 取り組む。</p>	<p>職場・家庭・地域で理解し支援する)、結婚支援が必要不可欠です。当計画ではこの点が関連諸計画との関係図や策定のポイントに表れていて良いと思います。 「隘路の打破に取り組む」という表現が非常に頼もしく、担当課の意気込みが伝わってきます。</p>	<p>育てに関する希望の形成を図るため、若い世代の意見に耳を傾けながら、様々な課題の解決に取り組んでいきます。</p>
---	---	---